

【本選（紙上審査）】

（学校対抗戦） 予選で提出した自由題1首と、本選用題詠2首「恋」「若」の合計9首の出来と、作品紹介の内容を加味してリモート審査を行い、順位を決定しました。
 （個人賞） 予選・本選投稿歌108首の中から選考しました。

【審査員】 伊藤一彦（審査員長） 歌人。若山牧水記念文学館長。宮崎市在住。
 俵 万智 歌人。『プーさんの鼻』で若山牧水賞受賞。宮崎市在住。
 大口玲子 歌人。『トリサンナイト』で若山牧水賞受賞。宮崎市在住。
 笹 公人 歌人。『念カレストラン』令和2年7月29日出版。

8月23日（日）日向市役所にて、リモートによる最終審査が行われました。伊藤先生には会場までお越しいただき、3名の先生方はそれぞれご自宅からご参加いただきました。今年も、全国の高校生が一堂に会することが叶わず、寂しい短歌甲子園になるだろうなあと感じていたのですが、言葉の選び方や主張の注目ポイントなど具体的にお話しいただき、3名の先生方のご意見をじっくり聞くことができました。例年とは違った視点で重みのある牧水・短歌甲子園でした。



- 【優勝】 三重県高田高等学校（初出場にて初優勝）
- 【準優勝】 宮崎県立宮崎西高等学校（第2、8、9回優勝）（第3、6回準優勝）
- 【第3位】 茨木県立並木中等教育学校（初出場にて第3位）
- 【第3位】 福岡県福岡女学院高等学校（第4回優勝）（第5回準優勝）

三重県高田高等学校

「めんどくさい、ウザい、死にたい」腹痛を抱き込む私はteenager	長崎 桃子
瞬きで夕焼け丸ごと切り取って私は完全無欠になりたい	亀谷 柊瑠
水切りは水面を三度跳ねるまで恋は相手に気付かれるまで	前川 陽香
パパママは恋人だったの 割れた皿吸う掃除機の音は、からから	長崎 桃子
転調。そして光が射すように恋は視界を塗りかえてゆく	前川 陽香
タピオカを歓声上げて飲むことが踏み絵となりき夏ぞ恋しき	亀谷 柊瑠
井自殺願望 若者は「しにたい」分け合い今日を生きてく	長崎 桃子
若者の死亡理由を教えたい人が作った教科書らしい	前川 陽香
若者の瞳の底に棲むおばけメランコリーを光らせている	亀谷 柊瑠

【若山牧水記念文学館長賞】 三重県高田高等学校	亀谷 柊瑠
瞬きで夕焼け丸ごと切り取って私は完全無欠になりたい	
【俵 万智賞】 茨木県立並木中等教育学校	赤津 百夏
優しさはつながり光の輪をつくる春の厨に小瓶が並ぶ	
【大口玲子賞】 福岡県福岡女学院高等学校	辻 愛生
吾の肉も地面にズンと溶けてゆくそこから芽生え始める若葉	
【笹 公人賞】 三重県高田高等学校	亀谷 柊瑠
瞬きで夕焼け丸ごと切り取って私は完全無欠になりたい	
【日向若山牧水顕彰会長賞】 群馬県高崎商科大学附属高等学校	小坂橋 彩花
苗時祖母の話を聞きたくてリンゴの皮は丁寧に剥く	
【牧水・短歌甲子園実行委員会賞】 三重県高田高等学校	前川 陽香
水切りは水面を三度跳ねるまで恋は相手に気付かれるまで	
【牧水・短歌甲子園OBOG会「みなと」賞】 盛岡第一高等学校	三浦 香穂
毛穴全部にUSBをぶちこみたいって言えないくらい貴方が好きよ	

牧水・短歌甲子園実行委員会賞、牧水・短歌甲子園 OBOG 会「みなと」賞は新設されました。

結果発表および講評

YouTuberにて配信中です。どうぞご覧ください。
日向市ホームページにも掲載されております。

【講評】（抜粋）

伊藤一彦先生： 主張する青春、抵抗する青春に願望の強さ、あくがれの強さを感じる。
 笹 公人先生： 自分たちの青春はこういうもんだ、という主張があってもよいと思う。
 大口玲子先生： 大人を怖がらせる、審査員をもっと驚かせる作品を読みたい。
 俵 万智先生： 他校の作品を素材にして、今後につなげて行ってほしい。